

市議団ニュース

木村奉憲 22-8567、杉野 修 58-9010

石田利春 52-7260、渡辺昌代 21-9058

国保税値上げは死活問題

税率統一は低い町に

合わせるべき

国保税を旧久喜市に合わせられたら大変との思いは、合併時の大きな心配でした。

国保運営協議会での統一に向けた審議内容を検証すると、この心配が現実のものとなる可能性が出ています。

国民健康保険法は社会保障であることが共通認識になっていないことや、統一試案も旧久喜市を基本とした案しか示されていません。引き下げを求めた10600人以上の請願があったことを直視し、市民の暮らしを守る視点からの審議が望まれます。

議長と市長が長谷川審議官に要望書を手渡しました



液状化被害で国に支援拡大を要請 市議会・市長ら特命大臣に

5月27日、久喜市議会と市長、県議会議員らが、松本内閣府特命担当大臣(防災)に対し、「東日本大震災に伴う液状化被害に関する要望書」を提出しました。内容は被災者生活再建支援法の適用要件を、大規模半壊または半壊2世帯を全壊1世帯として取り扱うなど弾力的な適用を南栗橋地域に適用してほしいこと。液状化に対し事態に即した新たな支援制度を創設してほしいこと、でした。

応対した長谷川審議官は「被災地のきびしい現状は理解するが、どこかに線引きせざるを得ない。県でも制度をつくり、役割分担してほしい」との答弁。民主党の森岡県選出国会議員ら6人も要請に参加しましたが、今後も粘り強い働きかけが何としても必要です。

液状化による被災者救済の

ため市独自の支援策を求める決議採択へ

5月31日の各派代表者会議で「東日本大震災に伴う液状化現象による被災者救済を求める決議」を6月6日の本会議初日に提案することになりました。日本共産党議員団が代表者会議に提案していたもので、各会派の素案を元にまとめられました。

決議の趣旨は一日も早く被災者の生活再建がなされるよう、引き続き国・県その他の関係機関に働きかけをすると共に、久喜市としても被災者救済のための新たな基準を設けて支援金を支給するなど独自の支援策を講じられるよう求めるとの内容です。

水道料金 7.1%の値上げ答申へ

5月31日に第8回目の水道事業運営審議会が開かれました。主な議題は、合併後2年以内に統一するとしていた「新料金」について。また将来計画である「水道ビジョン」などです。

審議に入る前、日本共産党市委員会が再度の審議を求めた「申し入れ書」が配布されました。しかし、「ここまで審議してきたので再審議は却下する」と合意。ところが、「答申案」の文章で、これまで合意した料金改定案が1%の値上げになるとの記述があることに驚いた委員が「こんな合意していたのか」と発言。(第7回の資料に小さくある)

また、「料金算定要領」には、むしろ3年以内にまた料金改定ができる旨の内容が書かれており、委員から「これでは何のために(妥協して)合意したのかわからない」との意見も出しました。

いずれにしても市民目線からは納得のいかない「値上げ答申」は認めることはできません。(再度、調整することに決定)

28	23	22	21	20	17	16	14	13	10	9	6	
意見書、 閉会 討論	文教常任委員会	福祉健康 常任委員会	環境建設水道 常任委員会	総務財政市民 常任委員会	予算常任委員会	議案質疑	一般質問④	一般質問③	一般質問②	一般質問①	開会、提案	議会の日程

ぜひ、傍聴に
来て下さい。

6月議会に通告した一般質問（要旨）です

傍聴に来て下さい



木村奉憲議員

6月9日（木）2番目

1. 福島第1原発事故による放射能の現状は
◇福島原発の放射能の拡散と汚染の実態は。
◇保育園、幼稚園、小中学校や市内の水質、土壌、農産物などへの測定を
◇久喜市の太陽光発電など再生可能なエネルギーへの対応と目標は
2. 東日本大震災の久喜市内の被災について
◇屋根瓦、ぐし、塀などの被災現状と支援を。
◇市内のパトロールで補修箇所把握
3. 新久喜市の液状化マップ作成と今後の対策について
4. 久喜市総合振興計画策定基本方針と市民意識調査結果報告書について
5. 社会保障制度「改革案」による負担増とその影響について



渡辺昌代議員

6月9日（木）4番目

防災に強い街づくりについて

- ① 市内公共施設の耐震化の現状は。
- ② 久喜市本庁舎・中央幼稚園・さくら保育園など早急な計画が必要では。
- ③ 防災無線の調査と改善は。
- ④ 耐震改修にも独自補助を。
- ⑤ 住宅リフォーム助成制度を創設すべき。
- ⑥ 防災倉庫の備蓄品の再点検は。

清久工業団地周辺地域の開発について

- ① 伐採した樹木の利用法は
- ② 工業団地の樹木の管理について
- ③ 公園の管理について。防災公園にするべきでは。
- ④ 農業用水の流れ、雨水とのかねあいは。



杉野 修議員

6月10日（金）2番目

ルールあるまちづくりを

鷺宮地区内において産業廃棄物の埋め立てに関して違法とならないように市の対応を求める

1、久喜市地域防災計画について

現在、策定に向けて進行中だがその中身には「液状化対策」や「放射能対策」はしっかり位置付けているか

2、鷺宮の2駅の駅前整備を

- ・駅前にトイレの設置を（JR東鷺宮駅）
- ・駅前公園のベンチや公園内と川沿い遊歩道のデコボコを改修して

3、水道料金の統一のありかたについて

審議会の最終審議では、統一料金が「値上げ」で答申されようとしている。

- ・引下げを ・地下水は残すべきであるが
- ・値上げに関する根拠を伺う など



石田利春議員

6月10日（金）4番目

南栗橋地域の液状化被害で、市の対応は

◇液状化被害が発生した地域は、県が事業を進めていた権現堂の砂を入れ、旧栗橋町が区画整理事業を施工し宅地として分譲した地域である。区画整理事業を実施した旧栗橋町の責任をどう考えているか。

◇住民の皆さんへ久喜市独自の支援が必要不可欠である。支援策はどうか。

◇今後の久喜市南栗橋地域における「安全安心の街づくり」に向けた取り組みはいかに。

2、国保税は高く払いきれない、引き下げてほしいという市民の声が高まる中、国保税の統一に向けた市の取り組みは。国民健康保険法は社会保障である。このことを共通認識にすべきと考えるがいかがか。

3、道路わきにある雨水溝の清掃について

蓋の部分由市で開閉し、中に堆積した土の部分を市民が担うなど、市民との協働による作業も考えられるがいかがか。